⑧普段の生活の中で、

幸せな気持ちに

なることがある

⑦学校に行くのは

楽しいと思う

□あきる野市(公立)

□全国(公立)

中学校

⑥困りごとや不安がある

時に、先生や大人に

いつでも相談できる

⑧普段の生活の中で、

幸せな気持ちに

なることがある

⑥困りごとや不安がある

時に、先生や大人に

いつでも相談できる

ありますか(習い事は除く)

⑦学校に行くのは

楽しいと思う

□あきる野市(公立)

あきる野市(公立)

中学校

あきる野市(公立)

東京都(公立)

全国(公立)

東京都 (公立)

全国 (公立)

□全国(公立)

①自分には、

102.0

100.0

98.0

96.0

94.0 92.0

90.0

よいところがある

⑤いじめは、どんな

理由があってもいけ

よいところがある

⑤いじめは、どんな

理由があってもいけ

ないことだと思う

○地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活

動に関わってもらったり一緒に遊んでもらったりすることが

■よくある ■ときどきある ■あまりない ■全くない ■その他 ■無回答

■よくある ■ときどきある ■あまりない ■全くない ■その他 ■無回答

ないことだと思う

①自分には

102.0 100.0

> 96.0 94.0

90.0

②先生は、あなたの

くれている

よいところを認めて

③将来の夢や目標を

持っている

④人が困っている

ときは、進んで

②先生は、あなたの

くれている

④人が困っている

ときは、進んで

助けている

よいところを認めて

③将来の夢や目標を

28.5

持っている

小学校

本市の全

体的

な傾向

等を感じている児童

・生徒の

国語

55

61

58.1

国語

52

57

54.3

中学校

数学

50

57

52.5

中学校

数学

44

53

48.3

理科

未実施

理科%

476

506

503

ij

08%縮まりました。 校算数で34% 査から、全国(公立) 均正答率(表1) 小学校国語で6% 算数・数学、 中学校国語で は 理科. との差 前回調 ÷ 平

主体的・対話的で深い学びの

地域の大人に、

授業や放課

令和6年度

令和7年度

で教育に取り組む体制をつくっ

こいきます

ウェルビーイングの向上

児童・生徒には多彩な能力や

あきる野市(公立)

東京都 (公立)

全 国(公立)

東京都 (公立)

全 国(公立)

視点からの授業改善に関する

生徒の割合が、 に増加しており、全国 高い傾向がありま 小·中学校共 (公立)

ウェルビ ーイングに関する状 福感

題の解決に向けて自分から取 …前回調査から、「課 と回答する児童 今後の取組 学習指導要領の着実な実施 生徒の割合 とがある」

と比較.

結果とな

況 自]有用感、 幸

义

ウェ

ルビ

イン

グに関する状況

※ウェ

ールビー

イング

満たされた幸福な状態身体的にも社会的に

態も

地域.

との連携に関する状況

ガ

の向上を図っていきます

伸

ばすことで、

ウェルビー

視点からの授業改善を図ると

対話的で深い学び_

地域との連携に関する状況 学校で10・3%増加しました。 高い傾向にあり(図1)、特に つでも相談できる」と回答し 先生や学校にいる大人にい 児童・生徒の割合が、 置から、 、全国(公立)と比較 小学校で48%、 前回

算数

56

68

63.4

54

64

58.0

未実施

54

60

57.1

況の向上を目指した教育活動を

ます。そのために、

児童・生徒の学力・学習状

、地域が

体となっ

59

70

67.7

65

70

66.8

や地域の理解と協力の下に十分

ながら、

地域全体

く材の積極的な活用等、

保護者 外部

験活動に関わってもらったこ 後などで勉強やスポ と回答した児童 (図2)は、 リツ 全国 (参考

干スコアで表記
※中学校理科の結果は、 文部科学省 「中学校理

ともに、 ਭੂਂ 5 を引き出すなど工夫を重ねなが 徒の学びを深るために、 及び技能を身に付け、 確実な習得を図 基礎的・ 家庭と連携を図りな 基本的な知識 っていきま 児童・牛 主体性

画の立て方や学び方を促すな 習を行っていきます 家庭学習も視野に入れた学 発達段階に応じた学習計

岛

きる

Ī

この交流会は

昭和6年、五

団を迎え入れることになります。

これからも交流学習を通し

令和8年度は、栗原市の代表

表1

に関する調査結果

(平均正答率)

・コミュニティ・スクールの活用

中学生友好親善交流会



栗原市で、 あきる野市 会代表団26人が参加しました。 本市市立中学校の生徒 の姉妹都市・宮城県 友好親善交流会が開

子どもたちがそれぞれの多様性

互いに高め合う協

的な学びの機会も確保し、

一人の能力や可能性を最大限

な課題を抱えています。

全ての

能性がある一方で、

個々に様々

きました。

7月31日 、8月1 日の2日間

> を縁として、 日市町 姫町 始まりました。 約を締結したこと 法草案の起草者 (現栗原市 (現あき 友 好姉妹都市の盟 ・千葉卓三狼氏 6野市) と志波 しがきっかけで が、五日市憲

> > たくましい子どもの育成を目指 て、両市の将来を担う心豊かで

り、有意義な交流会となるよう

朝交流を通して. 代表団が訪問. それ以来、 隔 年で互いの市を 生徒会や部活 友好を深めて

計画していきます。

組等についてプ 分の学校の特色 をテーマに、 文化を肌で感じ を見学し、栗原市 今回は、 や千葉氏にゆる また、 科 栗 双 **らことができま** の自然や歴史・ かりのある史跡 駒山麓ジオパー レゼンを行いま や誇りに思う取 口の生徒が、自 だちの学校自慢.

めをなくそう子ども会議」 こを話し合う「あきる野市いじ ・学級を築くために必要なこ 月4日に、 いじめのない学 が 児童・生徒は授 分を大切にし、 ことや個性を認 に関する授業を

な違って、 広げよういじ の違いを認め合える学校に ・全学級においていじ じめの未然防止の取組を推進 が何よりも重要となります 「いじめを生まない土壌づく じめ問題の取組に当たって のテーマの下、 みんないい 本会議前の6月5 め防止の輪 ー〜お互 め防止 市内全 3

掲げたスローガ

合いました。次に

た取組などに いじめに対する

ながら真剣に

しました。

「やさしい自分を

するために について考えを深めました。 会議当日は、 人 相手を思いやる 中学校区ごとに めを未然に防止 の合い尊重する 業を通して、自 実施しました。 人ができるこ

あきる野市役所の市議会議場で

行われました。

ているかについて、各学校が 現在どのような取組を 考え、 提言を作 ついて意見交換 る未然防止に向 、テーマに沿っ ンを基に紹介し 発表されました。

「分かり合えば、みんなの心晴 れていく」など、様々な提言が 広げて、お互いを大切にし合う